

## 中間テストが終わったらどうするの？

今までに『進路 information』等で「PDCAサイクル」の話題が出ていたことが何度かありましたが、「PDCA」とは何のことであったのかを覚えていますか？「PDCA」とは、「1 Plan (計画) → 2 Do (実行) → 3 Check (評価) → 4 Action (改善)」の頭文字を取ったもので、このサイクルを繰り返し行うことで、継続的な業務(みんなにとっては学習)の改善を促すことができる技法のことです。1950年代に品質管理の父といわれる W・エドワード・デミングが提唱しました。

1学期中間テストが終わり、テスト返却がされている最中ですが、返却されたテストは、満足のいく結果でしたか？文系・理系と分野が分かれ、それぞれの特徴的な科目も異なり、授業内容や進度に応じてテストに向けた学習時間の比重も変わったかもしれません。自分の得意・不得意を含めて考慮した、実りある準備をすることができたでしょうか？

テストに対しての取り組みに手ごたえがあった人もそうでない人も、以下のチェック表で中間テストまでの自分自身の学習姿勢を振り返ることで、Check (評価) してみましょう。そして、期末テストに向けて Action (改善) し、再び新しいサイクルを繰り返しながら、着実に力を身に付けていきましょう！

《学習習慣チェックリスト》自分に当てはまる項目の左枠に☑を入れてみよう。

### ～ テスト前まで ～

<input type="checkbox"/>	課題は、全て期限までに完了・提出できている。
<input type="checkbox"/>	日頃から(特にテスト前でなくても)予習・復習等をきちんと行っている。
<input type="checkbox"/>	テスト2週間前あたりから、テストの準備を意識して計画を立てている。
<input type="checkbox"/>	テスト1週間前あたりから、テストに向けて勉強や準備を行っている。
<input type="checkbox"/>	分からないところをそのままにせず、先生や友達に聞いて解決に励む対策をした。

### ～ テストでは ～

<input type="checkbox"/>	記名もれなく丁寧な字で HRNO と氏名を書いた。
<input type="checkbox"/>	答案の字は丁寧に書き、修正も綺麗に消しゴムで消して書き直した。
<input type="checkbox"/>	解答が済んだ後、答案の見直しを行った。
<input type="checkbox"/>	テスト時間が終わるまで、諦めずに解答したり見直したりした。

ここまでのところですべての項目に☑マークがつくと「学習に対する取り組みや姿勢」ができあがっています！

「定期テスト」はみんなの授業での学びの定着や理解度を図るものであると同時に、出題者や授業者とのコミュニケーションでもあります。「丁寧な字」や「見直し」というのは、出題者(授業者)の問いに対し、「いかに自分の考えを正確に伝えるか」ということにも通じる大切な行程です。自分で正解を書いたつもりでも、採点者にそれが伝わらないと「誤答」になってしまうのです。特に、来年度の進学や就職の受験時には、採点する人は役職についているような方々、すなわち経験を積まれた御高齢の方々がほとんどなので、みんなには読めても、字が小さすぎる・薄すぎる・汚すぎるでは、読み取ってもらえないのです。(きっと自分はそれらにあてはまる…)と思う人は、普段の学習から心がけ、「丁寧な字」や「見直し」の習慣化を図りましょう！

続いて次のこと(裏面)をチェックしてみましょう。

～ テストが終わったら ～

	できなかった問題をもう一度解き直している。(意味を考えずにただ答えを写すのは含まれません)
	分からなかったところや解答できなかったところを、ノートや教科書や問題集やプリントのどこの部分に該当するかを探し、もう一度読み直したり解き直したりした。
	どこが理解できていなかったのかを確認の上、できていなかった問題をもう一度解き直している。

テストが終わったら「その問題とはもうおさらば」というわけではありません。次の学習内容は、今回のテストの定着が必須です。できない問題をそのままにすると、次の学習内容もますます分からなくなります。そのようにならないための対策として、できなかった問題の振り返りは必要です。ノート・教科書・問題集・プリント等の問題を振り返るのみならず、(湖東高校の職員室は狭いですが、)先生方に積極的に質問し、スタディサプリなども活用し、次の学習へ繋げていきましょう!

さて、チェックリストにいくつレ点をつけることができましたか?多いに越したことはありませんが、レ点がつかなかったところに重きを置くことで、改善の一步となります。1学期期末テストは、7月3日(月)・4日(火)・5日(水)です。今日時点であと39日あります。途中に大きな行事の1つである文化祭もあり、文化祭にも思い切り取り組んでほしいので、実質あと何日勉強できるか考えてみてください。部活動なども差し引きすると、1ヶ月を切っている人もいることでしょう。それぞれが Plan (計画)を立て、その計画を Do (実行)してみてください。(そしてまた Check (評価)し、次のテストに向けて Action (改善)してみてください。)

## 先生方からのメッセージ 「いつ勉強するの？」

～体育科 内田先生より～

皆さんが一番勉強した時っていつですか?多くの生徒が「高校入試」と答えるかと思います。当然私もそうでした。高校卒業後の学びは?当然進学してから勉強し、就職してから社会人として様々なことを学びます。

私たちが生き続ける限り、「学び」は続きます。学ぶ方法・手段は変わりますが、興味関心のあることから、苦手な事、やりたくないことまで幅広く学びます。

今私が勉強していることは2つ。ひとつは「溶接」、YouTube 見たり Web で情報得たりと知識を増やし、実際に溶接して(←まだ行っていませんが...)技術を高めていきます。インプットしたものをアウトプットするところが楽しく、溶接のイメージを高めている今が一番面白い時間です。もちろん、そこでの失敗も楽しむことができると思います。ふたつめが「パソコン」、苦手な ICT を活用するのがストレス MAX。勢いで Mac 買った方がいいが、持っているだけで活用とは程遠い。パソコンとは別ですが、PayPAY の支払いでコンビニレジを渋滞させたのがトラウマで、現金払いから卒業できません。

好きな事だけ学べる人は限られていて羨ましいです。しかし自分が苦手な事、やりたくないことだけれども、それが「誰かのため」になることもあります。

まだ将来が見えなくて自分の特性が分からず、不安な時期だと思いますが、そんな時だからこそ「学び」を続けていきましょう。みんなには、自分の好きなことに没頭して社会貢献できる人間になって欲しいと願います。常に新しいものを取り入れ、自分が学んだことに疑問を持ち、学び直すことができる柔軟さを持った大人になるために、基礎をしっかりと身に付けてください。